

会 務 報 告

1. 新潟歯学会会員数（平成18年12月15日現在）

学内 270名
 学外 739名（発送停止者および住所不明者含む）
 合計 1,009名

2. 平成19年度事業計画

学術集会

第40回総会 4月14日（土）開催
 第1回例会 7月14日（土）開催
 第2回例会 11月10日（土）開催

新潟歯学会雑誌

第37巻第1号 7月28日（土）発行
 第37巻第2号 12月14日（金）発行

3. 第40回新潟歯学会総会議決事項および報告

- (1)平成19年度事業計画案の承認
- (2)平成18年度会計決算報告，会計監査報告承認
- (3)平成19年度予算案の承認
- (4)歯学会会則の一部改正についての承認
- (5)新評議委員（鈴木 昭先生，網塚憲生先生）の承認
- (6)副会頭（齊藤 力教授），名誉会員（野田 忠先生，川島博行先生，宮川 修先生）の承認
- (7)歯学会演題登録のオンライン化の報告

4. 理事会議決事項

資料に基づき今年度担当講座を下記のように決定した。

総会・特別講演担当講座

歯学会雑誌・総説担当者 第37巻1号：齊藤 力教授
 第37巻2号：林 孝文教授

同・最近のトピックス担当講座 第37巻1号：口腔病理，口腔解剖，う触学，組織再建口腔外科，口腔介護支援

第37巻2号：口腔環境・感染予防，口腔保健推進，咬合制御，インプラント

5. 平成18年度決算および平成19年度予算（別表）

6. 平成19年度新潟歯学会 理事・幹事（任期 平成19年1月1日～12月31日）

庶務担当 理事 織田公光 幹事 天谷吉宏
 会計担当 理事 朔 敬 幹事 丸山 智
 編集担当 理事 林 孝文 幹事 勝良剛詞
 集会担当 理事 宮崎秀夫 幹事 山賀孝之

新潟歯学会 平成18年度予算決算および平成19年度予算案

平成18年度会計担当 理事 山田 好秋
幹事 井上 誠
平成19年度会計担当 理事 朔 敬
幹事 丸山 智

収入の部

費用	平成18年度決算	平成19年度予算	備考
前年度繰越金	5,880,964	5,401,601	
会費収入	5,119,000	4,220,000	平成18年度学内会員 1,363,000 平成18年度新会員 168,000 平成19年度学外会員 2,499,000 平成19年度学内会員 1,064,000 平成19年度学内会員 1,440,000 平成19年度新会員 100,000 平成19年度会費未納分 115,000 平成20年度学内会員 1,440,000 平成20年度新会員 100,000
広告掲載料	240,000	205,000	歯学会雑誌掲載料 平成18年度掲載料未納分および平成19年度歯学会雑誌掲載料
英文抄録掲載料	16,800	8,400	科学技術復興機構
複写使用料	26,037	26,000	学術著作権協会
預金利子	747	700	
収入の合計	11,283,548	98,861,701	

支出の部

費用	平成18年度決算	平成19年度予算	備考
印刷費	3,491,095	2,800,000	第35巻2号, 第36巻1・2号, 総会・例会印刷物 第37巻1・2号, 総会・例会印刷物, PDFファイル作成費
通信費	496,615	650,000	会誌発送費, プログラム発送費, 演題募集はがき 会誌発送費(第36巻2号, 第37巻1・2号), プログラム発送費, 演題募集はがき, 封筒, 切手
総会・例会関係費	148,900	150,000	特別講演講師謝礼, 交通費, 名誉会員証, 記念楯
会場係補助	135,000	60,000	総会および例会 総会および例会
施設利用料	19,337	20,000	講堂(総会)および第3講義室(例会)
事務費	453,856	70,000	事務雑費, 学会封筒, 会務雑費, 学外監査委員お車代
事務員謝礼	702,144	702,144	58,512 × 12か月 58,512 × 12か月
学術講演補助費	100,000	120,000	20,000 × 5件 20,000 × 6件
日本歯学系学会	50,000	50,000	
年会費・旅費	125,000	100,000	
HP管理料・学会撮影謝礼	160,000	160,000	
予備費	0	100,000	
支出の合計	5,881,947	5,072,144	
次年度繰越金	5,401,601	4,789,557	

新潟歯学会会則

(名称および所在地)

第1条 本会の名称および所在地は次の通りとする。

- 一 本会は新潟歯学会 (Niigata Dental Society) と称する。
- 二 所在地は新潟市中央区学校通2番町 5274 番地 新潟大学歯学部内とする。

(目 的)

第2条 本会は歯学の研究を推進し、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第3条 本会の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 集会の開催
- 二 会誌の発行
- 三 その他本会の目的の達成に必要な事業

(会 員)

第4条 本会の目的に賛同するものは会員となることができる。会員を分けて正会員、名誉会員、臨時会員、学生会員、および賛助会員の5種とする。

- 一 正会員 歯学研究者および新潟大学歯学部学生、大学院生、または評議員の紹介による入会希望者
- 二 名誉会員 本会に功勞のあったもので、評議員会により推薦されたもの
- 三 臨時会員 一時的に会員となることを希望する者
- 四 学生会員 新潟大学歯学部学生の入会希望者
- 五 賛助会員 本会の目的に賛成し、本会に対して相当の寄付をしたもの、または団体

(入 会)

第5条 正会員、臨時会員あるいは学生会員になろうとするものは、その年度の会費を添えて、所定の申込書を本会事務局に提出しなければならない。

賛助会員の入会は評議員会の承認を経なければならない。

(退 会)

第6条 会員で退会しようとするものは、その旨を事務所に届け出なければならない。ただし、既納の会費はこれを返還しない。

(会員の権利と義務)

第7条 正会員および名誉会員は会誌の配布を受け、会誌に投稿し、本会の開催する集会に出席して、研究発表を行うことができる。

臨時会員および学生会員は会誌に投稿し、本会の開催する集会に出席して、研究発表を行うことができる。

賛助会員は本会の発行する会誌の配布を受ける。

2 会員は所定の会費を前納しなければならない。ただし、会員が学生あるいは歯学の研究のために来日中の外国人留学生である場合、またはその他の事情がある場合には、理事会により、一部を免除することができる。

名誉会員は会費の納入を免除する。

(会員の資格の喪失)

第8条 会員は次の理由により、その資格を喪失する。

- 一 退会
- 二 2年以上会費を滞納した場合
- 三 評議員会により、本会の名誉をきずつけ、または目的に反する行為があったと判定された場合。

(役 員)

第9条 本会に次の役員をおく。

- 一 会 頭 1 名
- 二 副 会 頭 1 名
- 三 理 事 数 名
- 四 評 議 員 若干名
- 五 幹 事 数 名
- 六 会 計 監 事 2 名

第10条 会頭は歯学部長とし、本会を代表し、会務を総理する。

第11条 副会頭は会頭が指名するものとし、会頭を補佐する。また会頭事故あるときは、その職務を代行する。

第12条 評議員は次のものをもってあて、会頭がこれを委嘱し、本会の運営に必要な事項を審議する。

- 一 新潟大学歯学部教育を担当する分野等から推薦された教員
- 二 新潟県歯科医師会会長から推薦された会員若干名
- 三 会頭から推薦された会員若干名

2 評議員の任期は2年とする。

第13条 理事は評議員の互選により選出し、庶務、会計、編集、集会等の任務を分担処理する。

第14条 幹事は各理事により推薦され、理事のもとにそれぞれの実務を分担処理する。

2 幹事の任期は1年とする。

第15条 会計監事は正会員および評議員のなかから会頭が指名し、総会の承認を得るものとする。

2 会計監事の任期は2年とする。

(集 会)

第16条 集会を総会および例会とする。

2 総会は毎年1回開催し、諸報告、議事、学術上の講演、討論を行う。

3 例会は毎年数回開催し、学術上の講演、討論を行う。

第17条 集会における学術上の講演は、本会会員および本会の要請したものに限るものとする。

(会 誌)

第18条 本会は会誌として、新潟歯学会雑誌 (Niigata Dental Journal) を年2回発行する。

第19条 新潟歯学会雑誌の編集および投稿は、別に定める規定による。

(会 計)

第20条 毎年度の予算決算は評議員会の承認を経て、総会に報告されるものとする。

2 本会の会計年度は1月に始まり12月に終わる。

(事 務 所)

第21条 本会は新潟大学歯学部事務局をおく。

(改 則)

第22条 本会会則の改正は総会において、出席会員の3分の2以上の承認を必要とする。

付 則

本会は第1回総会において制定され、1968年1月1日より適用する。

改 正

2007年4月14日総会にて一部改正。

新潟歯学会雑誌編集規定

1. 本誌に発表する論文は、本会会員のもの为本会の目的に達し、未公開のものに限る。
2. 本誌の欄を次のように分ける。総説、原著、臨床、資料、紹介、文献集録、学会記事、講演抄録、雑報、その他。
 - (1) 総説は編集委員会の依頼によるもので、原則として400字詰20枚以内とし、掲載料は無料とする。
 - (2) 原著は印刷頁4頁(図表3コ以内)までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。
 - (3) 総説、原著以外は、印刷頁2頁(図表3コ以内)までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。
 - (4) 学会講演抄録は新潟歯学会の総会および例会の講演抄録とする。
 - (5) 掲載は原則として受付順とするが、原稿の採否および編集は新潟歯学会雑誌編集査読委員会に一任されたい。

新潟歯学会雑誌投稿規定

1. 和文原稿は400字詰原稿用紙に平がな、現代かなづかいを用い、わかりやすい文章で横書き、楷書でかく。

ワードプロセッサ使用の場合はA4版用紙に25字×45行の1,125字で印字する。

表題、著者、所属(主任、指導者名)を和文、英文でつける。特別な術語以外は、当用漢字の範囲内にとどめ、区切句読を明らかにし、改行の際は1字さげて書き始める。

5語以内のキーワード(和語または英語)を記入する。

原著および臨床論文においては目的、方法、結果および結論を400～600字にまとめた和文抄録ならびに250語程度の英文抄録をつける。

原稿と抄録に加え、それらと同一内容を記録した電子媒体(フロッピーディスク、CD、MO)を添付する。添付の条件については別に定める。
2. 英文原稿は、A4版タイプ用紙を用い、ダブルスペースでタ

イプする。

表題、著者、所属(主任、指導者名)を英文、和文でつける。

5語以内のキーワード(英語)を記入する。

なお、原著および臨床論文においては250語程度の英文抄録ならびに400-600字程度の和文抄録をつける。

電子媒体の添付については前記1に準ずる。

3. 原稿は、校正刷りにおいて内容の改正を要しないように充分推この上提出されたい。

なお、著者による校正は、原則として2校までとし、その際には字句の著しい変更、追加、削除は認められない。

4. 外人名は原名綴りのままでかき、その他の外国名は原字または片かなでかくこと。わかりやすいブロック体(またはタイプ)とする。

5. 表、図(写真含む)は、それぞれ用紙サイズをそろえてB5版またはA4版用紙を用いて1枚に1点ずつ明瞭に作成し、縮小率を明記すること。図・表挿入箇所を本文欄外に朱書する。図・表の最大印刷寸法は別に定める。

総説におけるカラー写真は1頁までを無料とし、総説以外のカラー写真は著者負担とする。

6. 引用文献は引用順に番号を付し本文のおわりにまとめ、次の記載法による。

雑 誌：著者名(欧文名は、Medlineに準ずる)、表題、雑誌名(正式な略誌名、たとえば日本医学図書館協会目録およびIndex Medicusによる誌名を使用)、巻、頁(始めと終りの頁)、年。

1) 藤田恒太郎：歯の計測基準について、人類誌、61:27-32, 1949.

2) Schultz-Haudt SD and Scherp HW: The production of chondrosulfatase by microorganisms isolated from human gingival crevices. J Dent Res, 35: 299-307, 1956.

単行本：著者名、書名、版、引用頁、発行社、発行地、発行年。

3) 秋吉正豊：歯周組織の構造と病理。274-277頁、医歯薬出版、東京、1968.

4) DeRobertis EDP, Nowinski WW and Saez FA: Cell biology. 4th ed, p 166-185, WB Saunders Co, Philadelphia and London, 1965.

5) 中尾 真：膜の機能。「生体膜の生化学」小田琢三、佐藤了、中尾真(編)、64-65頁、朝倉書店、東京、1969.

6) Bowen WH: Dental caries in monkeys. In advances in oral biology, ed Staple PH, Vol 3, p 185-216, Academic Press, New York and London, 1968.

省略のピリオドは省く。

英文原稿における引用文献も和文原稿に準じるが、和文引用文献は最後に(in Japanese)を付記する。

7. 度量衡の単位は、m, cm, mm, μ m, ℓ , ml, μ l, kg, g, mg, μ g等を用いる。

8. 本誌掲載の著作物の著作権は新潟歯学会に帰属する。

9. 原稿の送り先

〒 951-8514 新潟市中央区学校町通り 2 番町 5274 番地
新潟大学歯学部内
新潟歯学会編集幹事宛

投稿の手引き

〈投稿票について〉

論文投稿時に投稿票を添付して下さい。投稿票は、雑誌の巻末にありますので、切り取って記入し、論文と一緒に提出して下さい。特に筆頭著者と連絡担当者が異なる場合は、連絡先を忘れず記入して下さい。また、別刷の希望、著者負担分請求方法についても記入して下さい。

〈承諾書について〉

論文投稿時に著作権に関わる委任承諾書を提出して下さい。用紙は投稿票と一緒に巻末にあります。

〈電子媒体の添付について〉

新潟歯学会では、本誌投稿原稿ならびに抄録と同一内容を記録した電子媒体を添付することにいたしました。パソコン、ワープロとも機種やソフトは問いません。

〈入力・投稿時の留意事項〉

1. すべてを一つのファイルにされても結構ですが、英文抄録、文献、付表および付図説明等はそれぞれ別のファイルにされた方が便利です。付表および付図説明は、すべての図表のものを一つにまとめて結構です。
ファイル名はわかりやすい名前をつけてください。
2. 電子媒体に、投稿者の氏名、所属、タイトルおよび記録方式を明記して下さい。

例：(パソコン)

ハード NEC 9801

ソフト 一太郎 V.4

(ワープロ)

富士通オアシス 100 F X

3. 事前にファイルの整理を行い、不要なデータが残っていたり、必要なデータが抜けていたり、データの順序がバラバラであったりしないようにお願いします。
4. ファイルのリストを添付してください。データの順序が異なる場合は、リスト上に番号をつけてください。
5. 電子媒体は必ずバックアップをとるようお願いします。
6. 文字データ以外は変換できませんので、罫線、図表等は入れないでください。
7. 数字・英文は半角で入力し、英文では単語間のスペースは半角に統一して下さい。
8. 改行マークは、段落の最後のみ入力して下さい。
9. 必ず一段落で入力し、字詰めは一定にして下さい。
10. 外字 (JIS 第一水準、第二水準以外の文字) および修飾文字は、出力の際に正しく出ませんので、校正原稿で赤字で記入してください。
11. 電子媒体は、傷めることのないようケースに入れるか厚手のボール紙に挟んでください。

〈図表の大きさについて〉

1. 図・表の最大印刷寸法は、16.7 × 20.5cm です。これは、A4版での最大寸法ですので縮小率記入の際にご注意下さい。

〈英文抄録等について〉

1. 第 25 巻より、和文論文では、和文題名、和文著者名、英文題名、英文著者名、英文抄録、和文抄録、本文の順に掲載し、英文論文では、英文題名、英文著者名、英文抄録、和文抄録、本文の順に掲載します。原稿の順番をこれに揃えてご提出下さい。

〈別刷りにについて〉

1. 別刷りは、すべて著者負担になります。別刷りの希望数、表紙付きか否か等が投稿時に不明な場合は、必ず最終校正までに申し込んでください。
2. 別刷り希望の場合、最少部数は 50 部です。

— 複写される方へ —

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

電話 (03) 3475-5618 FAX (03) 3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

著作権の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

— Notice about photocopying —

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Phone 81-3-3475-5618 FAX 81-3-3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

新潟歯学会雑誌の原稿募集

新潟歯学会雑誌を刊行します。奮ってご投稿下さい。その際、投稿規程に従うようご注意ください。

第 37 卷 2 号

原稿送付先 : 〒 951-8514 新潟市中央区学校町通り 2-5274 番地
新潟大学大学院医歯学総合研究科
新潟歯学会編集係
顎顔面放射線学分野

勝良 剛詞 宛

新潟歯学会の演題募集

新潟歯学会を開催します。奮ってご応募下さい。なお、発表は新潟歯学会会員に限ります。

第 40 回新潟歯学会第 1 回例会

演題申込先 : 〒 951-8514 新潟市中央区学校町通り 2-5274 番地
新潟大学大学院医歯学総合研究科
新潟歯学会集会係
予防歯科学分野

山賀 孝之 宛

新潟歯学会総会・例会へのオンライン演題登録が可能になります。

これまで新潟歯学会雑誌に綴じ込まれていた講演抄録用紙を使用して行ってきた演題提出が平成19年度よりオンラインで行えます。演題登録方法については、以下をご覧ください。

1. インターネット接続が可能なコンピュータを用いて新潟歯学会のホームページ（下記）内にある演題募集のサイトにアクセスします。初回はユーザー登録が必要となります。
<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/index-j.html>
2. 指示に従い、演題名、所属、演者名、抄録などを記入していきます。抄録内容はワードファイルなどを用いてテキストを作成の後にcopy and pasteにて貼り付けても構いません。演題名、所属、演者名については、これまで通り日本語と英語の併記とします。
3. 後日、演題登録受付の確認メールが届き、演題受付終了を確認します。
4. 抄録の提出期限前であれば、演題受付番号とパスワード（初回時に登録）を使って何度でも内容の変更ができます。

オンライン登録時には会員番号が必要となります。

学外の皆様については、会員番号は本誌を入れた封筒の宛名シールに記載されています。学内の皆様については、学会誌とともに配布される名簿に各自の会員番号が記載されていますのでご確認ください。ご自分の会員番号が分からない方は学会事務局まで、また登録方法などについてご不明な点がある方はオンライン登録システム管理者までお問い合わせください。

このシステムは、平成19年度総会より既存の登録方法との併用でスタートし、平成19年度第2回例会からは完全に新システムに移行する予定です。

新潟歯学会事務局

TEL : 025-227-2928 Email : tsutsumi@dent.niigata-u.ac.jp

オンライン登録システム管理者

新高速印刷株式会社 〒950-0963 新潟市中央区南出来島2丁目1番25号

TEL : 025-285-3311 FAX : 025-285-5656 Email : kaneko@sksp.co.jp

平成19年4月

新潟歯学会

会 頭 前 田 健 康

新潟歯学会入会申込書

記入上の注意

1. 漢字は楷書ではっきりと書く。
2. 氏名, 住所, 勤務先, 勤務先住所地にはふりがなをしてください。

0	会員番号						*この欄は記入しないで下さい。
1	フリガナ						姓と名との間は1字空ける。
	氏名						
2	住所 (フリガナ)	〒					
3	電話番号						
4	入会日					例:平成12年4月1日-120401	
5	第 期生	第 期生 (新潟大学歯学部卒業生のみ)					
6	学内, 外	学内 (分野, 内線番号), 学外					
7	勤務先名						
8	勤務先住所	〒					
9	電話番号						

新潟歯学会の趣旨に賛同し入会いたしたく、会費 5,000 円を添えて申し込みます。

平成 年 月 日
氏名

新潟大学歯学部内 新潟歯学会事務局殿

※入会手続きは、会計幹事 (19 年度担当 口腔病理学分野 丸山 智
e-mail : maru@dent.niigata-u.ac.jp) 宛にお願いいたします。

[講演抄録用紙]

演題名

演 者

所 属

Blank area for the lecture title, author, and affiliation.

[記入例] (等倍で印刷されます)

自由行動下のウサギにおける咀嚼時外舌筋活動について

○生理太郎、矯正次郎¹、生理花子

新潟大学歯学部口腔生理学講座, 新潟大学歯学部歯科矯正学講座¹

【目的】 咀嚼は食物取り込み相、食物粉碎相、嚥下準備相そして嚥下という連続してはいるが異なった運動相からなる。これまでの研究より運動相が異なれば下顎運動や咀嚼筋活動も異なることが明らかになってきた。しかしながら.....

【方法】 実験には15羽のウサギを用いた。ペントバルビタール全身麻酔下(40mg/kg)にて下顎運動記録装置と筋電図記録用電極を両側の咀嚼筋(咬筋、顎二腹筋)及び舌筋(オトガイ舌筋、茎突舌筋)及び嚥下筋に装着した。手術からの回復後.....

【結果および考察】 咀嚼筋と同様に、外舌筋にもすべての咀嚼相を通じてリズムカルな活動が認められた。茎突舌筋については筋活動の持続時間、活動量ともに咀嚼相間における有位差は認められなかったが、オトガイ舌筋については食物粉碎相にはその他の相と比較して筋活動の持続時間、活動量ともに有意な増加が認められた ($p < 0.05$, ANOVA and Tukey test)。

新潟歯学会雑誌原稿入稿票

掲載希望 巻 号
投稿年月日： 年 月 日
投稿者：
所属：
論文題名：

著者名（全員）：

論文分類：総説・原著・臨床・臨床病理検討会レポート・最近のトピックス・
学会抄録・業績目録・その他（ ）
連絡先（住所、氏名、電話番号（内線）、FAX 番号等）：

原稿枚数：本文その他 枚 図表 枚
原稿の内容を下記にチェック
和文題名 和文著者名 和文抄録 本文
英文題名 英文著者名 英文抄録 キーワード
(要校閲) (和語・英語)

電子媒体（フロッピーディスク、CD、MO）の添付：

パソコンメーカー名 _____ 機種・型式名 _____
ワープロ・ソフト名（または保存形式） _____ 3.5 インチ 枚

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
文書ファイルのリスト（一覧表）を付 けましたか		内容を出力した印字物がありますか	
		文書ファイルはコピーしてありますか	
文書ファイルは出力順序通りに入っ ていますか		電子媒体は丈夫なケースに入っていますか	
		不要な文書ファイルはないですか	
		文書ファイルのデータは完全ですか	

別刷りの希望：有（部数 部）・無 表紙 有・無

著者負担分印刷費請求方法：私費・公費（校費・科研費・奨学寄付金）

承 諾 書

新潟歯学会
編集兼発行人殿

平成 年 月 日

私は、新潟歯学会雑誌の定める投稿規定および著作物に関する著作権規定により、下記の著作権行使にかかわる諸手続きを委任することを承諾します。

著 者

題 名

氏 名 _____ 印 _____ 印 _____ 印

_____ 印 _____ 印 _____ 印

注 著者が複数の場合は全員が署名、押印して下さい。
投稿の際には、必ず本承諾書を原稿に添付して下さい。

平成 19 年 7 月 24 日 印刷
平成 19 年 7 月 28 日 発行

第 37 卷 第 1 号

編集兼発行人

新潟大学歯学部

前 田 健 康

印 刷 所

株式会社 第一印刷所

新潟市中央区合町 2 丁目 4 番 18 号
電 話 (025) 382 - 7400 番

発 行 所

新 潟 歯 学 会

新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
郵便番号 951 - 8514
郵便 口座番号 : 00640 - 5 - 336 番
振替 加入者名 : 新 潟 歯 学 会